

!!!!必ずお読み下さい!!!!

MD DATA File System for Windows95 Version 1.25

本ソフトウェアは MD データドライブ MDH-10 を Windows95 のもとで使用するために Windows95 に MD データ専用ファイルシステムの処理機能を付加するものです。MDH-10 以外にはお使いになれません。また使用許諾は MDH-10 付属の「使用許諾契約書」に基づきます。

oo

はじめに

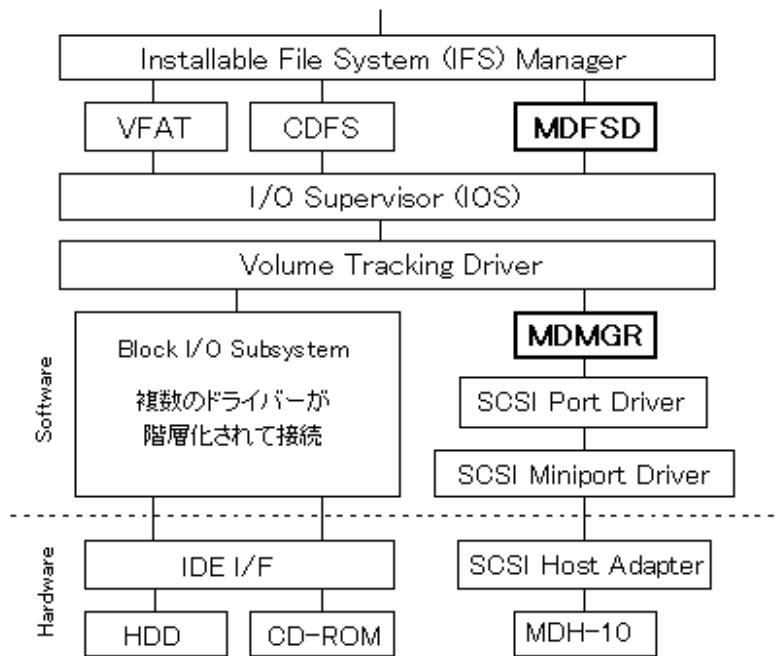
oo

本ディスクによりハードディスクにインストールされる主なファイルは、Windows95 がインストールされたディレクトリが「Windows」で、MD データの各ファイルのインストール先ディレクトリが「MDDATA」の場合以下の通りです。

	ファイル名	ディレクトリ
MD DATA File System Driver	MDFSD.VXD	\Windows\System\Iosubsys\
MD DATA Type Specific Driver	MDMGR.VXD	\Windows\System\Iosubsys\
MD DATA Formatter	MDFMT.EXE,MDFMT.HLP,MDFMT.GID	\Mddata\
MD DATA File System Checker	MDFSCHK.EXE,MDFSCHK.HLP,(etc)	\Mddata\
MD Audio Player	MDPLAY.EXE	\Mddata\
MD DATA Document	READMEJ.WRI(このドキュメント)	\Mddata\

Windows95 のファイルシステムから SCSI インターフェースまでの階層化された Block I/O System 内で、MD FSD, MDMGR は下図に示す階層で動作します。ファイルシステムドライバ (MDFSD) とタイプスペシフィックドライバ (MDMGR) は Ring0 (最も特権レベルが高い状態) で動作します。このレベルのソフトウェアでは、些細な問題でもシステムクラッシュを引き起こす可能性が大きいので、高い信頼性が要求されます。

下図に示すように MD データドライブをお使いになる場合は、Windows95 に準拠した SCSI ホストアダプタボード、SCSI ポートドライバ、ミニポートドライバが正しくインストールされている必要があります。インストールを行う前にデバイスマネージャ等でご確認下さい。また、MS DOS 版 (16bit 版) MD データファイルシステムを Windows95 に組み込んでいる場合には本ファイルシステムを同時に組み込むことはできません。必ず 16bit 版ファイルシステムが組み込まれないよう以下に示すインストール方法 (1) に従って「CONFIG.SYS」、「AUTOEXEC.BAT」を編集して下さい。



注意事項

- ◆ PCの搭載メモリは16Mバイト以上を推奨します。
アプリケーションが動作するのに十分なメモリが無い場合には、MDデータに限らずファイルの内容を破壊する問題が発生する可能性があります。
- ◆ ディスクのフォーマット、チェックには付属のフォーマットユーティリティ「MDFMT」、チェックユーティリティ「MDFSCHK」をご使用ください。その他のフォーマッターやWindows95に組み込まれているフォーマット/スキャンディスク機能はMDデータに対応していません。
- ◆ 他のアプリケーションがMDデータにアクセスしている時には、フォーマットを実行しないでください。又、フォーマット中にはMDデータにアクセスしないでください。
- ◆ アプリケーションで保存したファイルがウィンドウに表示されない事がありますが、「表示」メニューの中の「最新情報に更新」を実行するか、ウィンドウを一度閉じた後に開くとそのファイルは表示されます。またアプリケーションによっては、一時的に作業ファイルを作成するものがあり、作業終了後にこのような実在しないファイル名が表示されることもあります。この場合、「最新情報に更新」することによって表示されなくなります。
- ◆ Windows95 付属のバックアップ機能を用いて、例えばハードディスクの内容をMDデータにバックアップすることができます。但し、このバックアップ機能は複数のMDデータディスクへのバックアップに対応していません。1回のバックアップは、使用するディスクの空き容量に入る大きさに分けて実行して下さい。空き容量を超過した場合には、超過した時点でそれまでのバックアップデータが失われてしまいますのでご注意ください。

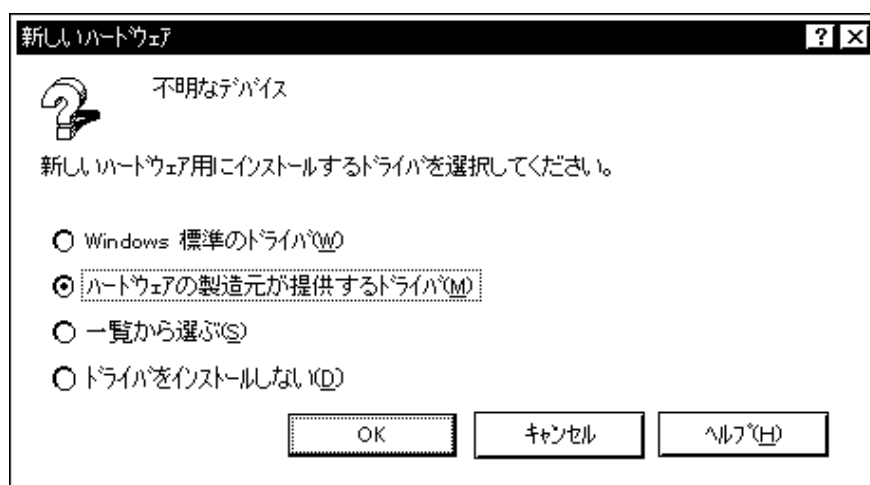
インストール方法

以下に MD DATA File System for Windows95 をインストールする方法を説明します。

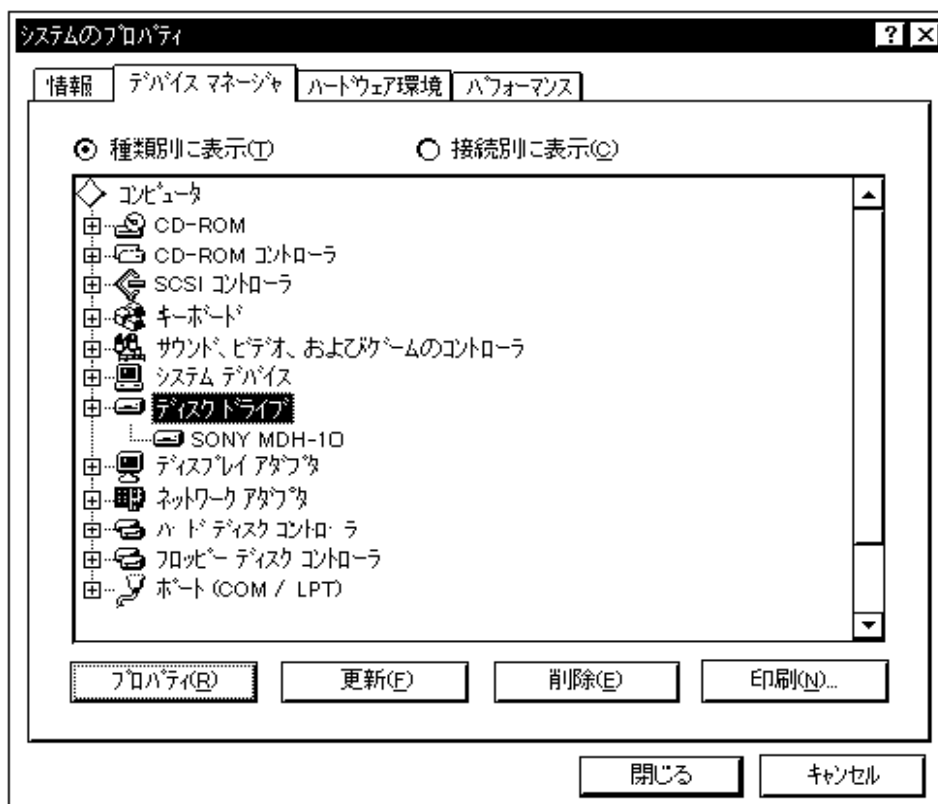
- 1 16bit版の「MDFSEX.EXE」と「MDMGR.EXE」を組み込まれている方はWindows95版と同時に使用できないので、起動ドライブのルートディレクトリにある「AUTOEXEC.BAT」ファイルの中の「MDMGR.EX

E」と「MDFSEX.EXE」を登録している行の先頭に「REM」を付加して下さい。さらに「CONFIG.SYS」ファイルの中に登録された SCSI ホストアダプタの ASPI マネージャの行の先頭にも「REM」を付加し、組み込まれないようにして下さい。

- 2 既に以前のアルファ版、ベータ版 MD データファイルシステムがインストールされている場合には、MDH-10 が認識されている状態で「コントロールパネル」の「システム」の「デバイスマネージャ」を開き、「ディスクドライブ」又はその他のデバイス E の下の「SONY MDH-10」を選択して、削除ボタンをクリックして削除します。さらにベータ版、ベータ 1 版の場合は「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」を開いて、「MD DATA」を削除します。
- 3 SCSI ボード/カードが正常に動作している事を確認して下さい。確認方法は、「コントロールパネル」の「システム」の「デバイスマネージャ」を開き、「SCSI コントローラ」の下に SCSI ボード/カードが表示されている事を確認し、その SCSI ボード/カードのプロパティを開き、正常に動作している事を確認します。
ソニーの SCSI カード RMD-K600 をご使用の場合は、専用の Windows95 ミニポートドライバをインストールしてください。
- 4 MD データドライブを 接続しない 状態で Windows95 を再起動してください。
- 5 フロッピーディスク Disk1 内の「Setup.exe」を実行して、画面の指示に従ってソフトウェアのインストールを行ってください。インストールの途中で、フロッピーディスクを Disk2 に入れ替えるよう表示されますので、Disk2 に入れ替えて下さい。
- 6 インストール終了後、フロッピーディスクを取り出してから Windows95 を終了し、コンピュータの電源を切ってください。
- 7 MDH-10 をコンピュータに接続し、MDH-10 の POWER/モード切り換えスイッチを DATA E にしてください。
- 8 コンピュータを再起動してください。
- 9 再起動の途中で「不明なデバイス」とメッセージが出る場合があります。その場合は「ハードウェアの製造元が提供するドライバ」を選択して OK ボタンをクリックして下さい。次に再びフロッピーディスク "Disk 1" をドライブに挿入し、ドライブを指定 (標準は「A:」) して OK ボタンをクリックして下さい。さらにデバイスの選択のメッセージが出る場合は「mdh10jp.inf」を選択して下さい。



- 1 再起動後に MD データドライブがリムーバブルディスクとして「マイコンピュータ」上にあることを確認してください。更に「コントロールパネル」の「システム」の「デバイスマネージャ」を開き、「ディスクドライブ」又はその他のデバイス E の下に MD データドライブがあることを確認してください。



以上の方法で、MDデータドライブがリムーバブルディスクとして扱えるようになります。また「MDデータフォーマッター」「MDデータディスクチェッカー」「MDオーディオプレーヤー」は、「\スタートメニュー\プログラム\MDデータユーティリティ\」の中に登録されます。

MDデータ・ユーティリティ・プログラムについて

本バージョンのインストール・プログラムの中には、
 MDデータディスクをフォーマットするためのユーティリティ
 MDデータディスクを検査するためのユーティリティ
 MDオーディオディスクを再生するためのユーティリティ
 が含まれています。インストール終了後各ユーティリティは\スタートメニュー\プログラム\MDデータユーティリティ\の中に登録されます。それぞれのユーティリティを起動する場合には、前記メニューから選択して起動して下さい。

MDFMT.EXE, MDFSCHK.EXE にはヘルプ機能が付属していますので使い方はヘルプをご参照下さい。

MDPLAY.EXE にはヘルプ機能は付属しておりません。録音済みのMDオーディオディスク等をドライブに入れ、MDPLAY.EXE を起動して下さい。再生ボタンを押せば、曲の再生が始まります。

大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与える事があります。耳を守るために、音量を上げ過ぎないように御注意ください。

アンインストール(削除)方法

MD DATA File System for Windows95 をアンインストール（削除）する場合は、「コントロールパネル」の中の「システム」を開き、「デバイスマネージャ」の中の「ディスクドライブ」または「その他のデバイス」の下にある「SONY MDH-10」を選択してから「削除」のボタンをクリックして、削除します。次に「コントロールパネル」の中の「アプリケーションの追加と削除」を起動してソフトウェアのリストの中の「MD DATA」を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックしてソフトウェアの削除をします。

SCSI カード RMO-K600 をお使いの場合

SCSI カード RMO-K600 を使い Windows95 で MD データドライブをお使いになりたい場合には、ファイルシステムの他に SCSI カード用の Windows95 ミニポートドライバが必要になります。詳しくは下記へお問い合わせ下さい。

ソニーデータストレージインフォメーション
電話: 0462-27-2588
FAX: 0462-27-2237
電子メール: info-mdfs@sony.co.jp

不具合が発生したら

- コンピュータ起動時にシステムがハングアップする。
MD ファイルシステム（MDFSD.VXD、MDMGR.VXD）がインストールされていない状態で MDH-10 を接続し、MDH-10 の電源を ON にしてコンピュータを起動すると、システムがハングアップすることがあります。MDH-10 を接続する前に必ず MD ファイルシステムをインストールしてください。
- MD ファイルシステムをインストールしても MDH-10 が認識されない。
SCSI カード/ボードが正常に動作していない可能性があります。「コントロールパネル」の中の「システム」を開き、「デバイスマネージャ」の中の「SCSI コントローラ」の下に、MDH-10 を接続している SCSI I ボード/カードが正常に表示されているかを確認してください。正常に動作していない場合（「！」や「？」マークが付く）は、SCSI カード/ボードのメーカーへお問い合わせください。また、インターネットホームページからダウンロードした場合にインストールディスクの作成に問題があったり、インストール手順で問題があった可能性もあります。その場合は「コントロールパネル」の中の「アプリケーションの追加と削除」で MDDATA を削除し、再度ダウンロード、再インストールを行ってください。
- リムーバブルディスク (MDH-10) が複数台認識される。
SCSI カード/ボードのミニポートドライバに問題がある可能性があります。SCSI カード/ボードのメーカーにお問い合わせください。
また、MDH-10 の SCSI ID を 7 にして起動した場合、SCSI ボード/カード自体の ID と重なって、この症状が発生する事があります。SCSI ID は 7 以外で、他のデバイスと重複しないように設定してください。
- コピー中にエラーまたはシステムハングアップが発生する、あるいは動作が不安定。
SCSI カードには、外部よりターミネータパワーの供給を必要とするものがあります。MDH-10 はターミネータパワーを外部に供給しないので、このようなカードに対しては、MDH-10 単独では使用できません。ターミネータパワーを出力する他の SCSI 機器 (AC 電源の SCSI 機器など) をカードと MDH-10 の間に接続するか、ターミネータパワーを必要としないカードをご使用ください。
このような問題のないソニー推奨のカードについては、データストレージインフォメーション FAX&VOICE サービスまたはソニーホームページ (Sony Drive) でご確認ください。

FAX&VOICE サービス TEL:0462-27-2580

Sony Drive [<http://www.sony.co.jp/ProductsPark/Consumer/Peripheral/MDDData/page1-j.html>]